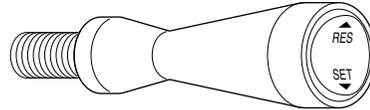
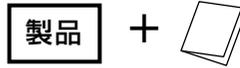


取扱説明書

この度はPIVOT製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この説明書はよくお読みいただき大切に保管してください。

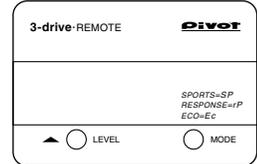
- 製品を他の人へお譲りする場合は、必ず取扱説明書(本書)をお付けください。



3-drive・REMOTE レバースイッチタイプ 衝突軽減システム車対応

品番

3DR-L



目次

ご使用のまえに	1	手順4 車速パルス設定	9
製品の特長	2~3	再始動時のモード設定	9
特長	2	テスト走行	9
内容物	3	基本動作	10
3DR-Lと3DRの主な相違点	3	アクセル開度モニター	10
各部の名称	3	操作方法	11~13
警告・注意	3	スロコン操作方法	11
手順1 配線接続方法	4~5	オートクルーズセット・解除・速度を変える	12
ブレーキスイッチ	4	オートクルーズ復帰・レベル調整	13
車速信号・アース・レバースイッチ・専用ハーネス	5	故障かな?と思ったら	14~15
手順2 製品の固定	6~7	表示の種類	16
手順3 初期設定(アクセル開度設定)	8		



装着後は必ず「初期設定」をする

製品装着後はクルマの特性を設定する「初期設定」(⇒8ページ)を必ず行ってください。「初期設定」を行わないとクルマ側の **チェックランプ** が点灯する場合があります。また、モード表示を換えても **ノーマル状態** のままです。

作業が不安な方

本製品は配線接続など一部専門知識が必要ですので、作業が不安な方は販売店にご相談ください。

専用ハーネスは3-drive用を使用

不具合の原因となりますので、専用ハーネスは必ず3-drive用をご使用ください。

純正オートクルーズ装着車には取付できません

製品の取り外し時はノーマルモード

製品を取り外す時は、**nor**(ノーマル)モードにしてください。他のモードで接続すると、**チェックランプ**が点灯する場合があります。

製品改造の禁止

本製品の改造は、クルマ側の不具合や製品故障の原因となり、走行にも影響を及ぼしますので絶対にしないでください。

ご使用の
まえに

製品の特長

配線接続
の方法

製品の
固定

初期
設定

車速パルス
設定

操作
方法

お困りの
ときは

特長

ご使用の
まえに

製品の
特長

配線
接続
方法

製品の
固定

初期
設定
⚠

車速
ハルス
設定

操作
方法

お困り
の
ときは

オートクルーズをレバースイッチから操作できるスロコン

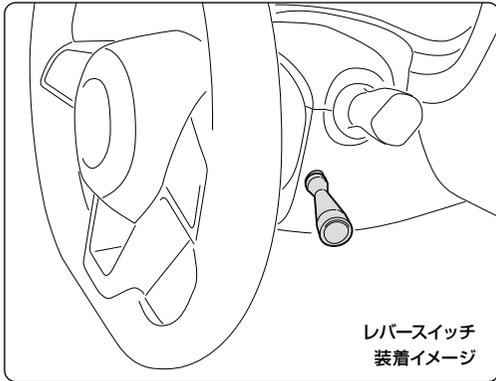
AUTO CRUISE

操作性と快適性を向上させたオートクルーズ機能



オートクルーズ 設定した速度で自動走行。(40～140 km/h)

レバースイッチ コラム装着用に専用設計したレバースイッチは首振りと高さ調整構造でスイッチを操作しやすい向きに調整可能。



安定した制御

より揺れの少ないオートクルーズ走行となる制御方式。

3DR-L専用機能

速度表示式加速・減速

オートクルーズの加速・減速は速度表示変更で、より操作性を向上させました。

自動ブレーキ連動解除機能 (Abc)

オートクルーズ走行中に、自動ブレーキが作動すると、その減速Gの強さから自動ブレーキ作動を判断しオートクルーズを解除する安全機能です。



自動ブレーキが作動した場合は、アラーム音と同時に「Abc」表示となり、オートクルーズが解除されます。

燃料消費量比較

オートクルーズ走行 (60 km/h)	121 cc
波状走行 (55～65 km/h)	151 cc
波状走行 (50～70 km/h)	183 cc

本数値は道路環境などで異なる場合があります。

車種＝スズキ ワゴンR (MH23S) / 道路勾配＝上り平均1.5度 / 距離＝1.5 km

※波状走行とは、設定速度の上下を周期的にアクセル操作したものです。

THROTTLE CONTROLLER

レスポンスモードが追加されたスロコン



レスポンスモード (5段階) 低、中域レスポンスを上げるワイヤー特性に近い性能。

スポーツモード (7段階) 全域のレスポンスを上げスポーツ走行に最適。

ECOモード (5段階) 低、中域レスポンスを下げエコ運転に最適。

ノーマルモード 純正状態。

加速時間比較

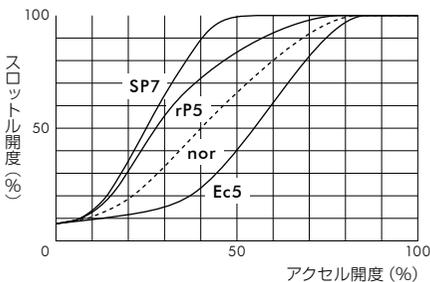
ノーマル	23秒
rP5	20秒
SP7	19秒
Ec5	29秒

燃料消費量比較

ノーマル	107cc
rP5	117cc
SP7	157cc
Ec5	58cc

rP5＝レスポンスモード最大 SP7＝スポーツモード最大 Ec5＝ECOモード最大
車種＝ホンダ ステップワゴン (RG1) / 距離＝0～400m / アクセル開度30%固定

スロットル開度変化



rP5＝レスポンスモード最大 SP7＝スポーツモード最大

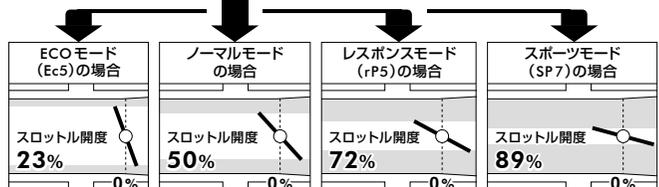
Ec5＝ECOモード最大 nor＝ノーマル

車種＝スズキ スイフト (ZC31S)



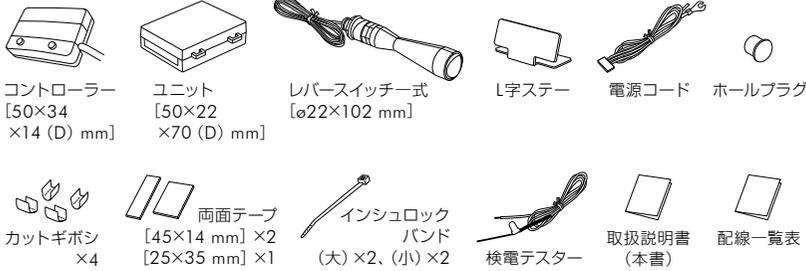
■ = 吸入空気

○ = スロットル弁

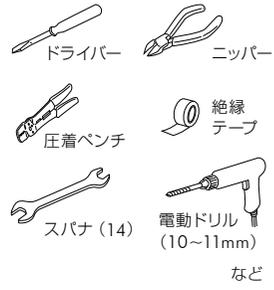


※バルブマチックエンジンなどを採用している一部車種では、スロットルバルブではなく吸気バルブで制御を行っている場合があります。

内容物をご確認ください



装着時に準備する道具と材料

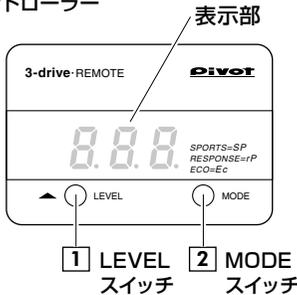


3DR-Lと3DRの主な相違点

	オートクルーズ設定速度	自動ブレーキ連動解除機能	オートクルーズ加速・減速	オートクルーズスイッチ
3DR-L	40 ~ 140km/h	あり	設定速度表示	レバースイッチ
3DR	30 ~ 140km/h	なし	Hi / Lo 表示	リモートスイッチ

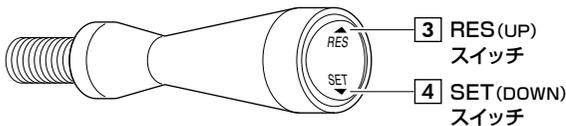
各部の名称

●コントローラー



番号	オートクルーズOFF時	オートクルーズ走行時	各設定
1	変化率切り換え	レベル調整	初期設定
2	モード切り換え	オートクルーズ解除	・車速パルス設定 ・再始動時のモード設定
3	オートクルーズ復帰 (リジューム)	設定速度を上げる	
4	オートクルーズセット	・設定速度を下げる ・オートクルーズ解除 (長押し)	

●レバースイッチ



表示部の消灯について

本製品はクルマのECU電源に連動しています。そのため、車種によってはキースイッチをOFFにしてから表示が消えるまで最長15分かかりますが、正常な動作です。

警告

右記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

- 初期設定はギヤをPまたはNにし、エンジン停止状態で行ってください。エンジン動作中は危険ですので初期設定を行わないでください。
- 換気の悪い場所で作業しないでください。排気ガス中毒や引火等で人体への危険があります。
- 走行中のスイッチ操作や表示の注視は大変危険ですのでおやめください。
- コードの被ふくを傷つけないでください。ショート、接触不良等による火災の危険があります。
- 配線処理や製品固定は運転の支障や接触不良とならない状態にしてください。

注意

右記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性と、製品その他に物質的損害が発生する可能性があります。

- 間違った設定や使用方法による車輛、製品、事故等の問題には弊社は一切の責任を負いませんのでご了承ください。
- 装着できる車種かどうかは、3DR-L対応車表でお確かめください。
- 本製品の装着には専門知識が必要です。不安な方は販売店などにご相談ください。
- 間違った装着・設定をすると、チェックランプが点灯する場合があります。
- エレクトロタップは使用しないでください。
- 配線は付属のカットギボシまたは半田付けで行い、配線部は絶縁テープで確実に絶縁し、芯線等が突き出ていないかをお確かめください。
- お手入れは乾いたやわらかい布 (めがね拭き) で拭いてください。
- アルコール・ベンジンなどは使わないでください。プラスチックが割れたり塗装面を傷めたりします。
- 加工・分解および改造は行わないでください。

ご使用の
まえに

製品の
特長

配線
接続
方法

製品の
固定

初期
設定

車速
パルス
設定

操作
方法

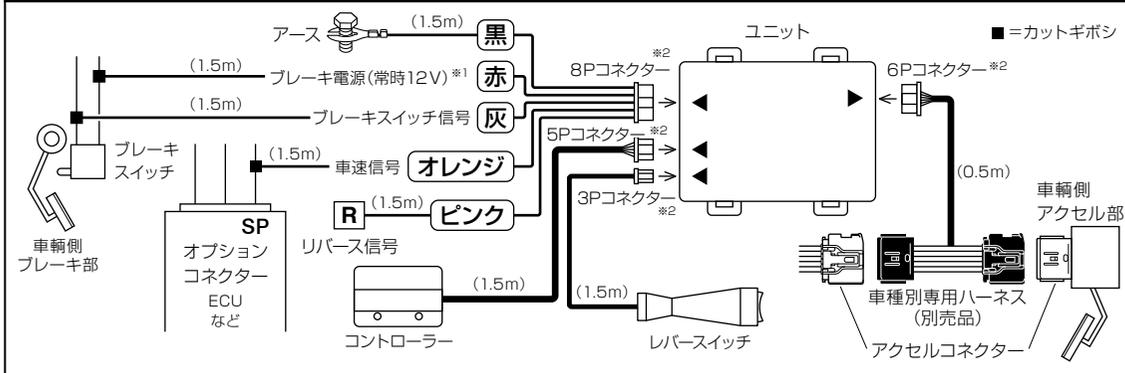
お困り
の
とき

手順 1

配線接続方法

基本配線

取付の際は必ず車種別専用ハーネスをご使用ください。



※1 ヒューズ切れ時にオートクルーズを正常に解除させるため、赤コードは必ず指定の場所に配線してください。

※2 コネクタ差し込み後は、軽く引っ張り、ロックされているか確認してください。



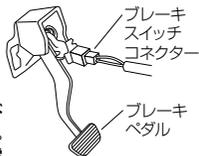
●車種側コードへの接続時は、通電不良の原因となるため、「エレクトロタップ」を使用せず、付属のカットギボシを使用するか半田付けをし、テープで絶縁処理を行ってください。

- ブレーキスイッチコネクタは車種、グレード、年式などで異なる場合がありますので、「配線一覧表」で形状を確認してください。
- 配線作業は必ずバッテリーの⊖端子を外して行ってください。

ブレーキスイッチ (ブレーキ電源とブレーキスイッチ信号)

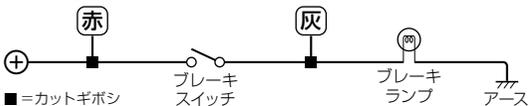
赤 ブレーキ電源へ (常時 12V)

灰 ブレーキスイッチ信号へ



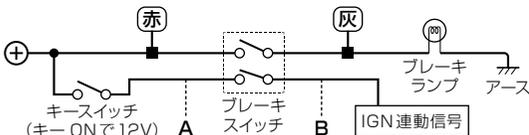
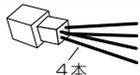
- ブレーキスイッチコネクタからのコードは2本または4本以上の場合があります。「配線一覧表」で接続場所を確認し、検電後に接続してください。
- 接続完了後は必ずブレーキランプの点灯確認を行ってください。

コネクタのコードが2本の場合



コネクタのコードが4本以上の場合

コードが4本以上の場合、下記A・Bの場所には接続しません。(各コード接続場所の検電方法は下記のとおりです。)



検電方法 (⇒ 5ページ 検電テスター (付属品) の使い方参照)

1. キースイッチはOFFでギヤはP (パーキング) またはN (ニュートラル)
2. 別紙「配線一覧表」で指定された接続場所の端子部を検電確認

製品コード色	ブレーキ踏まない	ブレーキ踏む	
赤	☀ (12V)	☀ (12V)	ブレーキ電源
灰	○ (0V)	☀ (12V)	ブレーキスイッチ信号

☀ = 検電テスター点灯 ○ = 消灯

※コードが4本以上の場合、残りのコードには配線しません。

配線方法を選んでください

「直接接続」か「ブレーキハーネス」から配線方法を選んで作業を行ってください。

- ① 指定の接続場所は検電確認を行ってから接続してください。
- ② 未確認の車種は検電確認を行い、接続してください。

直接接続の場合

「配線一覧表」の「接続番号」のコードへ、赤と灰コードを付属のカットギボシを使用して接続してください。
(⇒ 5ページ【参考2】カットギボシの使い方参照)

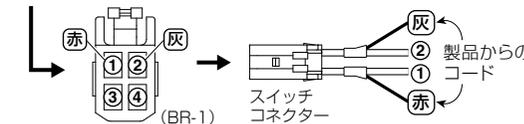


⚠ 表中の「ブレーキハーネス接続コード色」は、クルマ側のコード色ではありません。

例：トヨタアルファード (H20.5～) の場合

TOYOTA

車名	年式	ブレーキハーネス品番	直接接続接続番号		ブレーキハーネス接続色	
			赤	灰	赤	灰
アルファード ヴェルファイア	H20.5～	BR-1	①	②	青	黄



ブレーキハーネス (別売品) 使用の場合

「配線一覧表」の「ブレーキハーネス接続色」へ、赤と灰コードを接続してください。
(詳しくはブレーキハーネス取扱書を参照してください。)



例：トヨタアルファード (H20.5～) の場合

TOYOTA

車名	年式	ブレーキハーネス品番	直接接続接続番号		ブレーキハーネス接続色	
			赤	灰	赤	灰
アルファード ヴェルファイア	H20.5～	BR-1	1	2	青	黄

車速信号

オレンジ

別紙「配線一覧表」で位置を確認し、付属の
カットギボシを使用し接続。

(下記【参考2】カットギボシの使い方参照)

※三菱・スズキ・日産の一部車種は別途車速パルスアダプターが必要です。

※接続は車軸側コードの指示された場所に行ってください。
(CAN-BUSアダプターには接続しないでください。)

配線
一覧表

アース

黒

アースが取れる金属部の
端子付 ネジに固定する。



※プラスチック部や塗装したネジではアースが取れませんので、確
実にアースの取れる場所で固定してください。

リバース信号

リバース配線を行うと、スポーツモードまたはレスポンスモード
での**R**(リバース)時、ノーマル状態に自動的に切り換わります。
また、このときはオートクルーズセットもできません。

※リバース時のアクセル開度は小さく、急加速はしませんので、
必ずしもこの配線を行う必要はありません。

※ECOモード・ノーマルモード中は動作しません。

ピンク

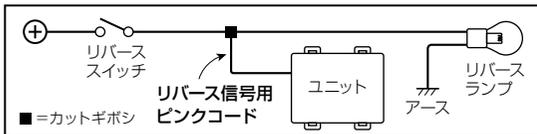
●ギヤ位置

R(リバース)時=12V、その他の位置=0V

(検電方法) キースイッチ ON (エンジンは始動しない) でギヤをリバー
スへ動かす。

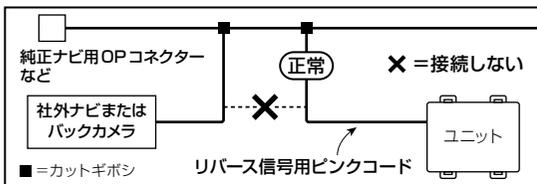
(接続方法) 先端の黒チューブをカットし、下記の要領で接続

■リバース信号へ接続する場合



■純正ナビ用オプションコネクタなどへ接続する場合

社外ナビゲーションのリバースケーブルへは接続しないでください。



(接続の確認) リバース信号が入力されるとスポーツモード
またはレスポンスモードで**bRc**表示し、ノーマルモードに
切り換わります。

【参考1】検電テスター (付属品) の使い方

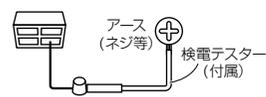
1 アースをすするネジを緩め、コード
の先端 (芯線) を入れ締める。



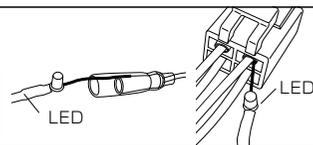
※アース用ネジは金属に固定され
たネジを使用してください。プ
ラスチック部には固定されたネジや
塗装ネジでは絶縁状態になり、
通電しません。



2 検電する場所にLEDの先端を接触させる。



点灯=12V
消灯=0V



【参考2】カットギボシの使い方

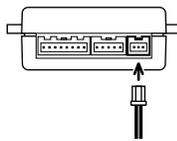


コネクタの差し込み後は、軽く引っ張り、ロックされて
いるか確認してください。

レバースイッチ

3P コネクタ

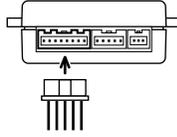
ユニット側面へ接続。



電源コード

8P コネクタ

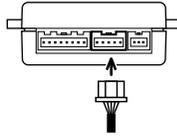
ユニット側面へ接続。



コントローラー

5P コネクタ

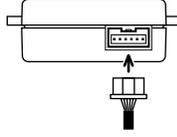
ユニット側面へ接続。



車種別専用ハーネス (別売品)

6P コネクタ

ユニット側面へ接続。



⚠️ アクセルコネクタの取り外しは
キースイッチ OFF 後 15 分以上経過してから行ってください。
車種によってはチェックランプ点灯の原因になります。
(チェックランプ点灯の場合⇒16 ページ「チェックランプ消灯方法」参照)



※アクセルコネクタへの装着方法は、各専用ハーネス付属の説明書を参
照してください。

❗ オートクルーズを使用しない場合の配線

赤 = 常時 12V (ブレーキ以外でも可)

黒 = アース

灰 **オレンジ** = どこにも接続しない

リモートスイッチをユニットに接続する。

一部の車種において、電流量不足
から付属検電テスターやLED
検電テスターが使用できない場合
があります。その場合はアナログ
テスター等をご使用ください。

ま
え
に
ご
使
用
の

特
長
の
製
品
の

方
法
配
線
接
続

固
定
の
製
品
の

⚠️
設
定
期

設
定
車
速
パ
ル
ス

操
作
方
法

お
困
り
の
時
は



コードは鉄板やネジ等で被ふくが傷つきショートしないよう束ねて処理してください。

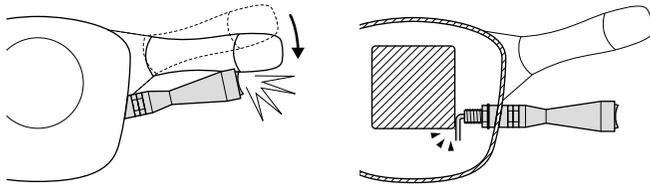
レバースイッチの装着

操作しやすい場所に装着してください。

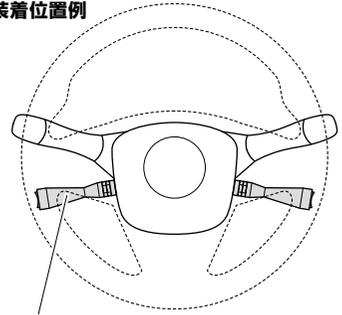


レバースイッチ装着禁止場所

- 運転者の足に接触したり運転に支障が出る場所
- ウィンカーレバーやハンドルなどを動かしたときに接触する場所
- レバースイッチからのコードやネジが車両の部品などと接触する場所

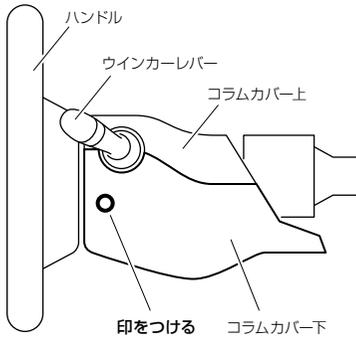


装着位置例

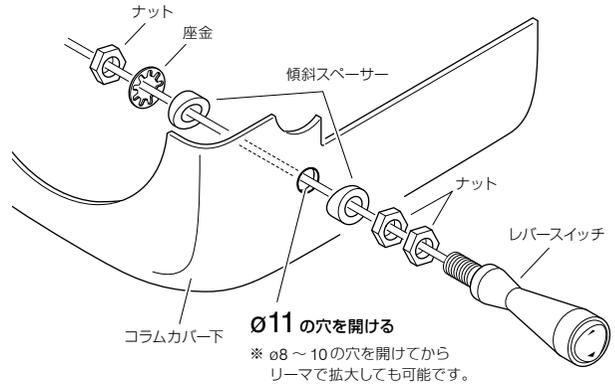


コラム左側へ装着する場合は7ページをご覧ください。

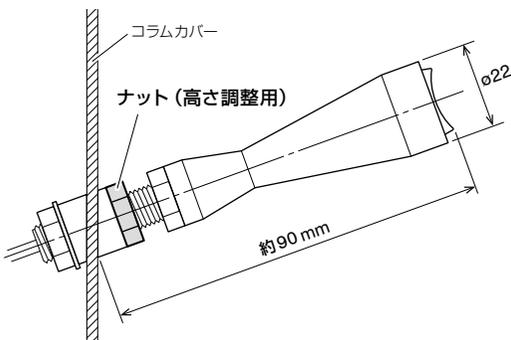
1 レバースイッチを装着する位置にマジックなどで印をつけて、コラムカバーを外す



2 コラムカバーに穴を開け、レバースイッチを固定する

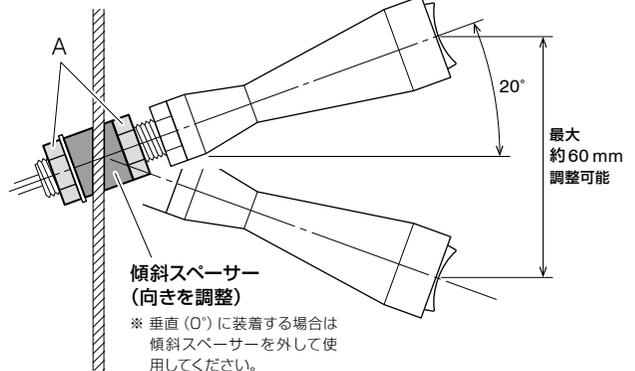


3 ナットでレバースイッチの高さを調整する



4 レバースイッチの向きを調整する

レバースイッチを操作しやすい向きに調整し、Aのナットでしっかり固定する。

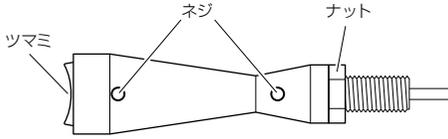


ご使用の
製品の
配線接続
製品の
初期
設定
車速ハルス
操作
お困りの

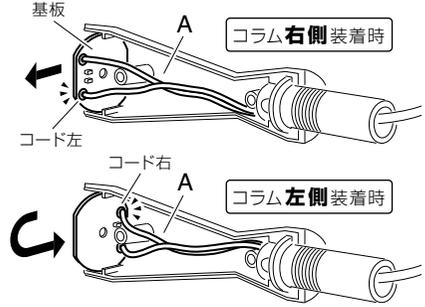
●コラム左側へ装着する場合

レバースイッチを左側へ装着する場合は、レバースイッチ内の基板とツマミの向きを入れ替えてご使用ください。

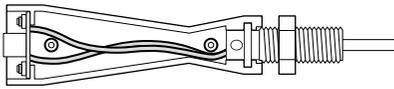
- 1** ナットを緩めて
プラスドライバー（0番）でネジを外し
ツマミを取り外す



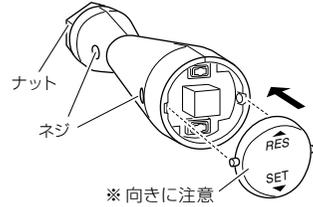
- 2** 基板を引き抜き
逆向きに差し込む



- 3** コードがネジ穴にかからないように処理する

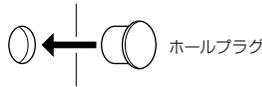


- 4** ツマミをはめながら
ネジを締め
さらにナットを締める



●レバースイッチ用の穴を埋める場合

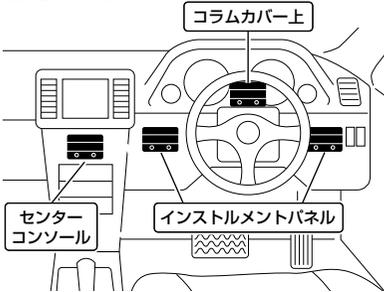
レバースイッチの位置を変更するなど穴を埋める場合は、付属のホールプラグを差し込んで使用してください。



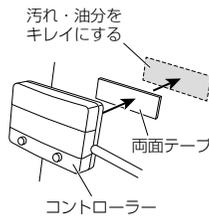
コントローラーの固定

できるだけ表示が見やすく操作しやすい場所に装着してください。

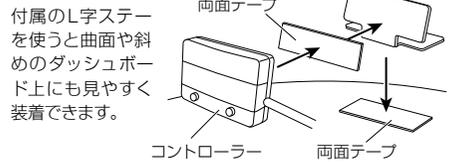
(装着場所例)



●平面に固定する場合



●コラムカバーなどへ固定する場合



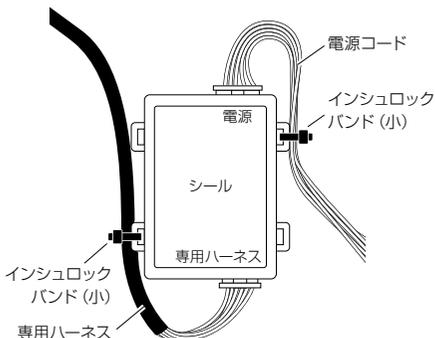
※ステーは逆向きにも使用できますので、お好きな向きに取り付けてください。



見やすい角度に調整可能

ユニットのコード処理

各コードが足などに引っ掛かり、端子が抜けないようコードを固定してください。

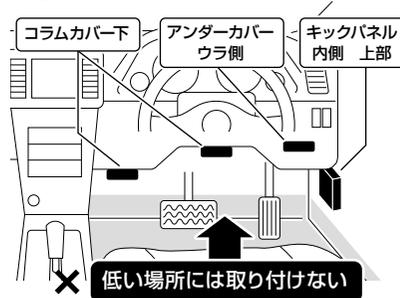


ユニットの固定

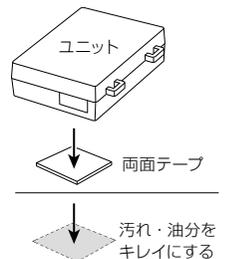


誤作動防止のためユニット固定には磁石部品は使用しないでください。

(装着場所例)



●平面に固定する場合



ご使用の
まえに

製品の
特長

配線
接続
方法

製品の
固定

初期
設定

車速
バルス
設定

操作
方法

お困りの
ときは

手順 3

初期設定 (アクセル開度設定) 必ず行ってください。

はじめて装着したとき



違うクルマに装着したとき



- この作業は、クルマのアクセル特性を製品に設定するためのものです。
- 設定を行わないと、モード表示を換えてもノーマル状態のままです。
- この作業を行わないと、チェックランプが点灯する場合があります。

初期設定作業のまえに

1. 設定はすべての配線 (コネクター装着) 後に行ってください。
2. 設定は **キー ON** ・ **エンジンを始動しない** ・ ギヤ位置 **P** (パーキング) または **N** (ニュートラル) で行ってください。

【設定方法】 = コントローラー表示 () 内は補足説明

1 キースイッチを ON にする (エンジンは始動しない)

● nor と表示 nor プレーキ踏まず 2 回押す

表示が nor 以外の場合は、MODE スイッチを押し、nor にしてください。

2 LEVEL スイッチを 10 秒長押し、表示を 0 にする

cAr ⇒ -5- -4- ... -0-

(cAr 点滅表示後、5~0 カウントダウン)

3 表示 0 で LEVEL スイッチはなす

-0-

4 アクセルペダルを踏まない (アクセル 0% 状態にする)

(例) L15

(電圧表示 例 = 1.5V 各表示数値は車種により異なります。)

5 アクセル 0% 状態で LEVEL スイッチを押す

● SEt と表示 SEt 0% 状態を設定

されます。

6 アクセルペダルを奥いっぱいまで踏み込む (アクセル 100% 状態にする)

(例) H45

(電圧表示 例 = 4.5V 各表示数値は車種により異なります。)

7 アクセル 100% 状態で LEVEL スイッチを押す

● SEt と表示 SEt 100% 状態を設定

されます。

⚠ Err 表示になる場合

Err 表示後 [4] の表示 (L15 など) に戻る場合は、アクセル開度設定が確実にできていません。もう一度 [4] からやり直してください。

8 表示が 100 になるまで アクセルペダル踏み続ける

SEt ⇒ nor ⇒ 100

9 表示が 100 になったら アクセルペダルをなす

100 ⇒ nor

10 設定完了

他のクルマに装着する時は必ず再設定を行ってください。設定後にバッテリーや配線を外した場合の、初期設定は不要です。

設定の確認 (表示が違う場合は再度 2 から行ってください。)

アクセルを踏まない

0% ⇒ nor

アクセルを踏み込む

100% ⇒ 100 ※

※アクセルの特性上または踏み方によって、R95 (95%) の表示になる場合があります。

ご使用の
まえに

製品の
特長

配線接続
方法

製品の
固定

初期
設定

必ず
行って
ください。

車速
ハルス
設定

操作
方法

お困り
の
ときは

手順 4

車速パルス設定

設定するパルス数は別紙「配線一覧表」を参照してください。

1 キースイッチをONにする
(エンジンは始動しない)
● **nor** と表示されます。
(ノーマルモード)

表示が **nor** 以外の場合は、MODEスイッチを押し、**nor** にしてください。

2 MODEスイッチを3秒長押しする
● **PLS** と表示されます。

3 MODEスイッチをはなす
● パルス数が表示されます。

4 MODEスイッチを押し、設定するパルス数を選択する
(押すごとに切り換わり)

5 3秒間操作なしで点滅表示
POO

6 5秒間操作なしで点滅表示からノーマルモードに戻る
nor **設定完了**

車速パルス設定は正しく行ってください。正しく設定されていないと、オートクルーズ設定可能速度の約40～140km/h以内でも、オートクルーズをセットすることができません。

再始動時のモード設定

再始動時のモードと変化率

エンジン始動時のモードを「前回使用モード」、「ノーマルモード」の選択が可能です。

ロック **Loc** 前回使用時のモードと変化率 ノーマル **nor** ノーマルモード

1 SPモードにする **SPO**

2 MODEスイッチを5秒長押しする
3秒点滅 **PLS**

3 現在の設定が表示されたらMODEスイッチをはなす
(例) **nor** 現在の設定を表示 (出荷時=ノーマルモード)

4 MODEスイッチ押すごとに切り換わり
Loc (ロック) ↔ **nor** (ノーマル)

5 5秒間操作なしでモード表示に戻る
SPO **設定完了**

テスト走行

各配線と「初期設定」「車速パルス設定」が完了したら、簡単な確認を行ってください。

テスト走行は、歩行者や交通量の少ない、安全な広い場所で行ってください。本書をよくお読みいただき、操作方法をご理解の上で行ってください。

1 エンジン始動

2 走行開始 (45km/h以上)

3 SETスイッチ押す

4 設定速度で自動走行 **Rcc**

- **-b-** が表示される場合
灰コードの接続不良 ⇒ 4ページ
ピンクコードの配線間違い ⇒ 5ページ
- **---** が表示される場合
車速パルス設定不良 ⇒ 9ページ
オレンジコードの配線間違い ⇒ 5ページ
- スイッチを押しても表示が切り換わらない場合
初期設定不良 ⇒ 8ページ

オートクルーズ解除方法 ●ブレーキを踏む ●MODEスイッチ押す ●SETスイッチを1秒長押し

ご使用の

製品の

配線接続

製品の

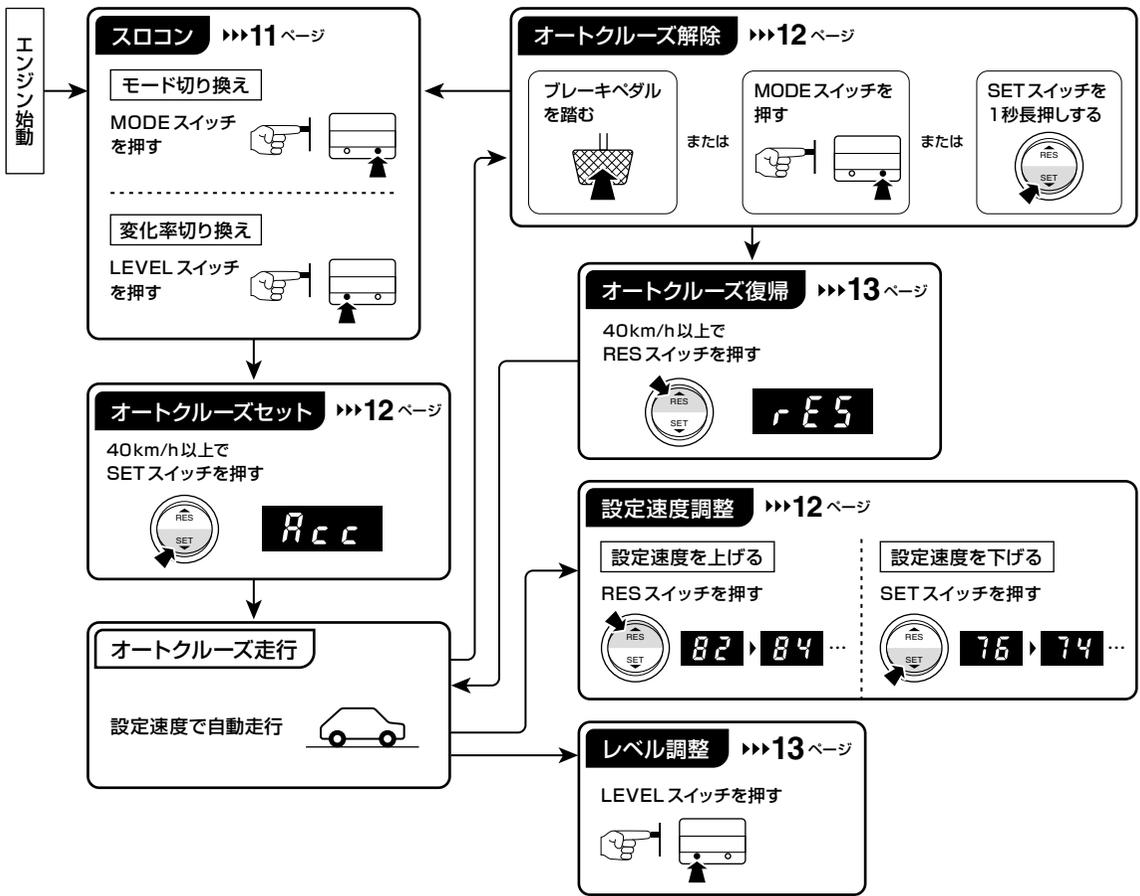
初期設定

車速パルス設定

操作方法

お困りの

基本動作



アクセル開度モニター

アクセルの踏み込み量を表示します。(出力信号側) [15~100%まで5%単位]

- アクセル開度モニターはアクセルを踏まない状態を0とし、奥まで踏んだ状態を100としてECU側に出力する開度率です。
- 表示は15%以上で表示します。

アクセル開度
(出力側)
20%時



用途 1 エコ運転時のアクセル操作チェック

発進から加速時に低燃費となるアクセル開度は約15~25%以内です。エコ運転時はECOモードと併用されると効果的です。

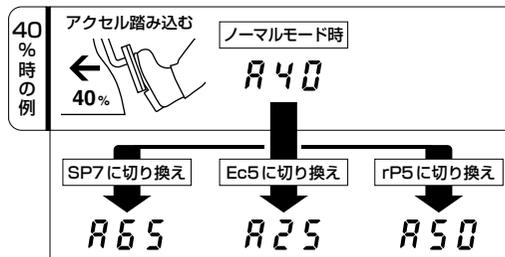


用途 2 運転中のアクセル操作チェック

ECOモード以外でもアクセル開度がチェックできますので各変化設定のチェックなどにご利用ください。

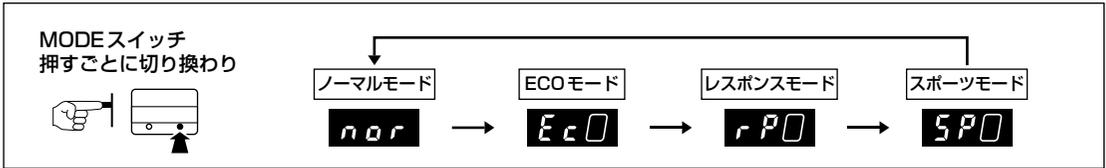
用途 3 制御状態のチェック

キースイッチ ON (エンジン停止) 状態でノーマルモードでアクセルを40% (R40) まで踏み込み、モードをSP7にすると表示は出力65% (R65) となり、rP5では50% (R50)、Ec5では25% (R25) となります。※表示は多少異なる場合があります。

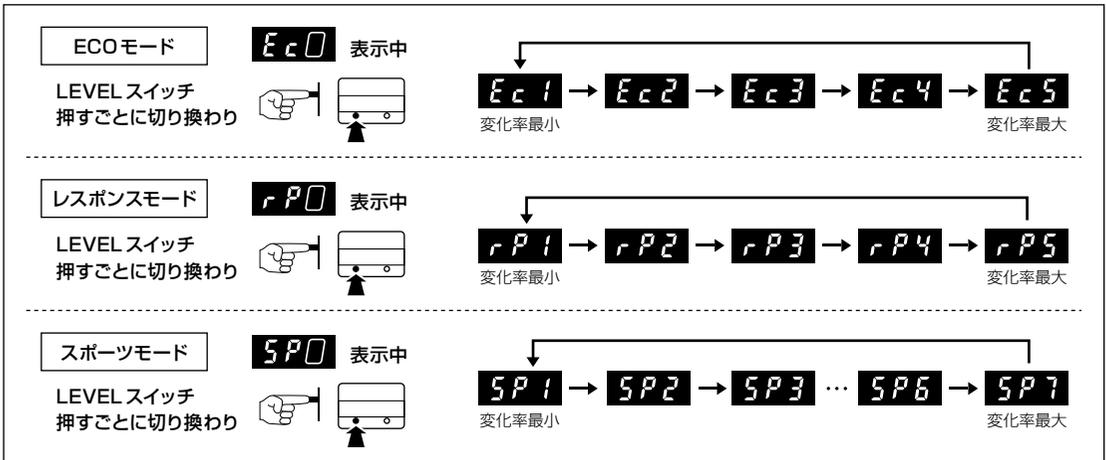


スロコン操作方法

モード切り換え



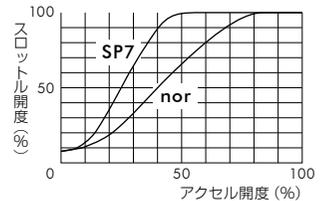
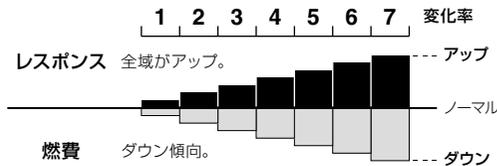
変化率の切り換え



各モードの特徴

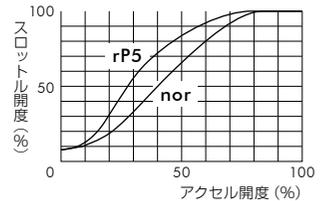
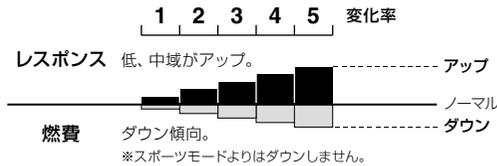
スポーツモード

- サーキット
- スポーツ



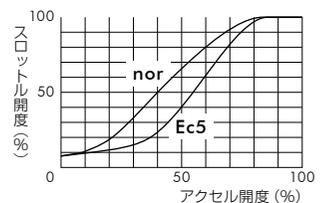
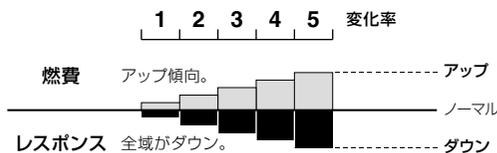
レスポンスモード

- サーキット
- スポーツ
- ワイヤー特性に近い



ECOモード

- ECO運転
- 市街走行
- 渋滞走行
- 滑りやすい路面



モードの切り換えを行っても各変化率は変更されません。
エンジン再始動時のモードについては、⇒9ページ【再始動時のモード設定】をご覧ください。

※ECOモードでは、純正状態よりもレスポンスを下げた低燃費走行が可能です。ただし、意図的に急加速運転をすると燃費は悪化します。

※レスポンス変化はパワーの大きいクルマほど大きくなります。

ご使用の
まえに

製品の
特長

配線
接続
方法

製品の
固定

初期
設定
⚠

車速
パルス
設定

操作
方法

お困り
の
ときは

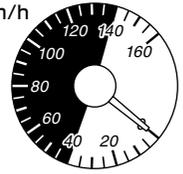
オートクルーズ操作方法

オートクルーズをセットすると、アクセルペダルを踏まなくても設定した速度で自動走行できます。

- オートクルーズは運転を補助する装置にすぎませんので、「法定速度」を守った「安全運転」を行ってください。
- オートクルーズは次の状況では危険ですので使用しないでください。
 - ① 滑りやすい路面（雪、凍結） ② 渋滞時 ③ 急カーブや急な坂
- 急な上り坂ではエンジン性能以上の加速はできません。また、急な下り坂ではエンジンブレーキ以上の減速はできませんので、ブレーキを併用してください。
- エンジン回転が上がるため、オートクルーズ走行中にギヤをN（ニュートラル）などDレンジ以外にしないでください。

【設定可能速度】

約40～140km/h
純正メーターでは、表示誤差から45～145km/hくらいでの設定になります。



セットする

1 エンジン始動
START

2 モード表示

3 走行開始
(40km/h以上)

4 設定したい速度で SET スイッチ押す

※1 できるだけ速度変化の少ない状態で行ってください。
※2 急な上り坂では、セット時、多少減速してから安定走行になります。

!
セット時には急激なアクセル操作を行わないでください。

5 設定速度で自動走行
加速時以外はアクセルを踏まないでください。

【一時的な加速方法】

加速 → オートクルーズ

① アクセルペダルを踏むと加速
② はなすと [5] の速度に戻りオートクルーズ

解除する

次のいずれかの方法を行ってください。

ブレーキペダルを踏む

MODE スイッチ 押す

SET スイッチ 1秒長押し

オートクルーズが解除され、スロコンに戻る

【自動解除】
速度が30km/h以下になった場合

設定速度を変える

RES / SET スイッチを押し
設定速度を変える

ACC (オートクルーズ走行中)

- 設定した表示速度と実際の制御速度は車種により多少誤差がありますので、必ず車輛のスピードメーターで確認してください。
- 急な下り坂等ではエンジンブレーキで減速しない場合もあります。

1回押すごとに2km/h
2回押すと4km/h、3回押すと6km/h...

速度が上がる: 82 → 84 → 86 ...

速度が下がる: 76 → 74 → 72 ...

RES スイッチ長押しで5km/hごと速度が上がる

80 → 85 → 90 ...

1秒長押しでオートクルーズ解除

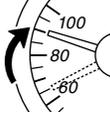
押すごとにピッと音が鳴り、約2km/hずつ加速(または減速)します。表示されている速度まで加速(または減速)し、自動走行します。

ピッと1回鳴った後ピッピッピッという連続音に変わります。押している間5km/hごと加速し続け、はなしたときの表示速度まで加速し、自動走行します。
※減速時は1秒長押しでオートクルーズ解除となります。

復帰させる

オートクルーズ解除後、スイッチを押すだけで解除前の設定速度に復帰します。

- 1 オートクルーズ解除
- 2 通常走行 (40km/h以上)
 
- 3 RESスイッチ押す
 
- 4 RESが5秒間表示され、ACCに切り換わる

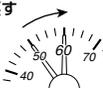

- 5 前回の設定速度まで自動で加速(または減速)し、自動走行
 

※安全のため、オートクルーズ解除後に車速がいったん10km/h(メーター読みでは15km/h)以下になると、解除前の設定速度はリセットされ、オートクルーズ復帰できません。

レベル調整

上り坂などで一時的に下がった速度を設定速度に戻す時間は、エンジン性能(出力)の違いによって変わります。レベル調整を行うことで、速い加速(設定速度に早く戻る)と遅い加速(乗り心地が良い)のバランスをお好みで調整できます。

レベル調整は走行条件やクルマでも異なる場合がありますので、下記はあくまで参考例とし、お好みで調整してください。(製品出荷時はL-3の設定です。)

<p>L-5 側 (速い加速) 小排気量車向け</p>	<p>エンジン出力が小さいクルマで、設定速度に戻る時間を早くしたい場合はL-5側に上げてください。</p>  <p>早く戻す</p>	<p>L-5 小排気量車向け</p> <p>↑</p> <p>L-4 早い (速度差が少ない)</p> <p>↑</p> <p>L-3 設定速度に戻る時間 (出荷時設定)</p> <p>↓</p> <p>L-2 遅い (乗り心地が良い)</p> <p>↓</p> <p>L-1 大排気量車向け</p>	<p>L-1 側 (遅い加速) 大排気量車向け</p>	<p>エンジン出力が大きいクルマで、設定速度に戻る時間が早く、急な加速で乗り心地が悪い場合はL-1側に下げてください。</p>  <p>ゆっくり戻す</p>	<p>【設定の参考例】</p> <table border="1"> <tr> <td>L-5</td> <td>アルト</td> </tr> <tr> <td>L-4</td> <td>マーチ・フィット・デミオ・ワゴンR</td> </tr> <tr> <td>L-3</td> <td>ヴォクシー・プリウス・キャラバン・セレナ・インサイト・スイフト・ステップワゴン</td> </tr> <tr> <td>L-2</td> <td>ヴェルファイア・クラウン・ハイエース・エルグランド・レガシィ・MPV・RX-8</td> </tr> </table>	L-5	アルト	L-4	マーチ・フィット・デミオ・ワゴンR	L-3	ヴォクシー・プリウス・キャラバン・セレナ・インサイト・スイフト・ステップワゴン	L-2	ヴェルファイア・クラウン・ハイエース・エルグランド・レガシィ・MPV・RX-8
L-5	アルト												
L-4	マーチ・フィット・デミオ・ワゴンR												
L-3	ヴォクシー・プリウス・キャラバン・セレナ・インサイト・スイフト・ステップワゴン												
L-2	ヴェルファイア・クラウン・ハイエース・エルグランド・レガシィ・MPV・RX-8												

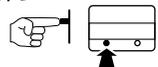


走行中のスイッチ操作や表示の注視は事故の原因となりますので、安全に十分配慮して行ってください。

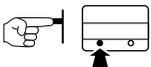
【調整方法】

ACC

オートクルーズ走行中に調整ができます。

- 1 LEVELスイッチ押す
 
- 2 現在のレベルを表示


- 3 LEVELスイッチ押すごとに切り換わる





レベル小側 (L-1) → (L-2) → (L-3) → (L-4) → (L-5) レベル大側

(L-3) (出荷時設定)

ご使用の

製品の

配線接続

製品の

設定初期

設定速度

操作方法

お困りの

故障かな?と思ったら

基本動作と車輛関係

症 状	原 因	対 策
キースイッチ ON で表示が点灯しない、または使用中に表示が消灯する。	車輛のブレーキヒューズ切れ。 (赤) (黒) コードの配線間違い、または接続不良。 (5Pコネクター) (8Pコネクター) (6Pコネクター) の接続不良。 (専用ハーネス) の接続不良。 (専用ハーネス) の品番間違い。	再度ご確認ください。
キースイッチ ON でドットのみ表示になる。 	(黒) コードの配線間違い、または接続不良。もしくはリモートスイッチの接続不良。	再度ご確認ください。
チェックランプが点灯した。 	「キー ON」または「キー OFF 後 15 分以内」に アクセルコネクター または (専用ハーネス) を抜いた。 「初期設定」が行われていない。 ノーマルモード以外で取り外した製品を別のクルマに接続した。	抜いたコネクターを元に戻し、チェックランプを消灯させてください。(⇒ 本書 16 ページ) 「初期設定」(⇒ 本書 8 ページ) を行い、チェックランプを消灯させてください。(⇒ 本書 16 ページ) ノーマルモードに戻してから「初期設定」(⇒ 本書 8 ページ) を行い、チェックランプを消灯させてください。(⇒ 本書 16 ページ)
初期設定または車速パルス設定に入れない。	(オレンジ) コードの配線間違い、または接続不良。 走行中のため。	再度ご確認ください。 停車状態で行ってください。
初期設定中に Err 表示になる。 	「初期設定」が正確に行われていない。	「初期設定」を行ってください。(⇒ 本書 8 ページ)
キースイッチを OFF にしても表示が点灯している。	本製品はクルマの ECU 電源に連動しています。そのため、車種によってはキースイッチ OFF から表示が消えるまで最長 15 分かかりますが、正常な動作です。	

スロットルコントローラー関係

症 状	原 因	対 策
モードを切り換えても変化を体感できない。	「初期設定」が正確に行われていない。	「初期設定」を行ってください。(⇒ 本書 8 ページ)
モードまたは変化率の設定が記憶されない。	モード切り換えまたは変化率設定後、すぐにキースイッチを OFF にしている。	モード切り換えまたは変化率設定後、2 秒以上経ってからキースイッチを OFF にしてください。
スポーツモードまたはレスポンスモード中、リバース時に bRc 表示にならない。 × 	(ピンク) コードの配線間違い、または接続不良。 社外ナビのリバースケーブルに接続している。 リバースランプを LED に交換している。	再度ご確認ください。 リバース配線を行ってください。(⇒ 本書 5 ページ) ●純正のリバースランプに戻してください。 ●リバース配線を行わないでください。

ご使用の
まえに

製品の
特長

配線
接続
方法

製品の
固定

初期
設定
の注意

車速
パルス
設定

操作
方法

お困り
のとき

オートクルーズ関係

症 状	原 因	対 策
-b- 表示になり、オートクルーズが動作しない。 	 (ピンク) コードの配線間違い、または接続不良。	再度ご確認ください。
	ブレーキランプをLEDに交換している。	純正のブレーキランプに戻してください。
--- 表示になり、オートクルーズが動作しない。 	 (オレンジ) コードの配線間違い、または接続不良。	再度ご確認ください。
	設定可能速度外。 「車速パルス設定」が正確に行われていない。	「車速パルス設定」を行ってください。 (⇒ 本書9ページ)
SETスイッチを押しても表示が切り換わらずオートクルーズが動作しない。	「初期設定」が正確に行われていない。	「初期設定」を行ってください。 (⇒ 本書8ページ)
オートクルーズが自動で解除され、スロコンに切り換わる。	 コードの配線間違い、または接続不良。	再度ご確認ください。
	 (ピンク) コードの配線間違い、または接続不良。	※オートクルーズを再度お使いになるには、キースイッチをOFFにし、表示が消灯したことを確認してからエンジンをかけ直してください。
	「初期設定」が正確に行われていない。	
速度が30km/h以下になった場合は自動で解除されます。		
急な上り坂でオートクルーズの設定速度との差が大きい。	オートクルーズレベル調整がレベル小(L-1側)になっている。	「オートクルーズレベル調整」を行ってください。 (⇒ 本書13ページ)
オートクルーズの設定速度に戻る加速が強く感じる。	オートクルーズレベル調整がレベル大(L-5側)になっている。	
オートクルーズ中にアラーム音と同時に  表示になり、オートクルーズが解除される。	自動ブレーキ連動解除機能が作動した。	正常動作です。
オートクルーズ中に設定速度と車輪メーターの速度に差がある。	車速パルス設定が違う。	「車速パルス設定」を再設定してください。 (⇒ 本書9ページ)
	数km/hの差の場合は、車種による誤差のため正常です。	

ご使用の
まえに

製品の
特長の

配線
接続
方法

製品の
固定の

初期
設定
の

車速
パルス
設定

操作
方法

お困り
の
ときは

表示の種類

使用中の表示

表示	説明
SP1~SP7	スポーツモード(数字が大きい=レスポンスが高い)
rP1~rP5	レスポンスモード(数字が大きい=レスポンスが高い)
Ec1~Ec5	ECOモード(数字が大きい=レスポンスが低い)
nor	ノーマル(純正状態)
A00	アクセル開度表示
Acc	オートクルーズ動作中
82 (速度表示例)	オートクルーズ中、設定速度を上げる/下げる
rES	オートクルーズ復帰開始(リジューム)
bAc	リバース時(スポーツモードとレスポンスモード中のみ)
- - -	オートクルーズ中止(車速)
- b -	オートクルーズ中止(ブレーキ)
Abc	自動ブレーキ作動によるオートクルーズ解除時

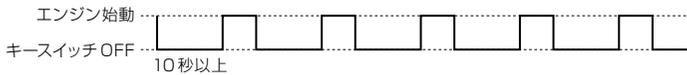
設定中の表示

表示	説明
cAr	初期設定モード
L00	アクセルを踏まない位置
H00	アクセルを奥まで踏んだ位置
SEt	入力完了
PLS	車速パルス設定モード
P00	車速パルス数
L-0	オートクルーズレベル調整

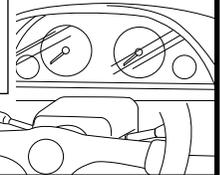
自動ブレーキ連動解除機能は、オートクルーズ走行中に衝突軽減システムの自動ブレーキが作動した場合のみ、オートクルーズを解除しアラーム音と同時に「Abc」表示となります。

チェックランプ消灯方法

- ① キースイッチを10秒以上OFF後、エンジン始動する操作を5回以上繰り返す。



- ② ①で消灯しない場合は、バッテリーの⊖端子を約10分外し元に戻す。
③ ①②で消灯しない場合は、カーディーラーなどで消灯作業を行う。



※弊社製品には工業所有権出願中、または取得済みが含まれています。
※意匠、制御特性、回路、回路配置などの類似品には、近年不正競争防止法等の法的処置が厳しく適用される事例があります。
※PIVOTマーク無断使用や説明書の無断転載は固くお断りします。